



大人世代も楽しめる絵本
紺野 涼子さん

嵐の夜、暗闇の中でお互いの姿が見えないまま、ヤギは相手もヤギと、オオカミは相手もオオカミと思い込み、話を続けていく二人…。毎回ドキドキさせられる展開で、早く続きが読みたいとワクワクし、感動の結末に心が震える友情物語です。

町の読み聞かせ団体「ら・みるく」に所属し、活動を通じて、作者の木村さんともご縁をいただきました。ご本人から物語に込めた思いを教えてください、より思い出深い一冊に。同じ大人なのに、どうしてこんなに素敵な話が思いつくのだろうと、大人世代も感動し、深く考えさせられる名作です。



『あらしのよるに』
木村裕一／作 あべ弘士／絵 講談社



科学を好きになった原点
佐藤 焯人さん

マンガやアニメ、ゲームなどの空想の世界を科学的に検証していく「空想科学読本」。特に、「ウルトラマンは3分で地球を守れるか」という検証が面白くてお気に入りです。

読書が好きで、毎月10冊くらい読んでいます。特に、理系の本に興味があり、学校の図書室では、新作コーナーに面白い本が入っていないかチェックを欠かしません。本を読んでいると、時間の流れがあっという間で、本の世界に没頭するあまり、周りから呼ばれているのに気付かないことも…。将来科学者になるために、これからも読書を通じて、さまざまな知識を身につけたいです。



『空想科学読本 3分間で地球を守れ!?!』
柳田理科雄／著 KADOKAWA／角川文庫



読むとお散歩したくなる
平野 響子さん、稜くん

家にいながら、お散歩に出かけた気分になれる本です。雨上がりに外へ出かけると、カエルや濡れた草花、大きな水たまりに出会います。中でも、長靴で水たまりに飛び込んで、バシャバシャと音を立てるシーンが大好きです。この本と同じように、実際雨の日を外へ行き、水たまりの中でバシャバシャと遊んでいます。

毎晩寝る前に「好きな本を2冊持っておいで」と息子へ声を掛け、読み聞かせをしています。抱っこをしたり、手をつないだり、必ず息子と体のどこかが触れ合うようにして、親子のスキンシップの時間となるように心掛けています。



『おさんぽ おさんぽ』
ひろのたかこ／さく 福音館書店

Special Feature 本から広がる世界

新しい季節、ふらっと図書室に立ち寄れば、本とのすてきな出会いが待っているかも――。遊学館「よも～よ」の便利な使い方や、町の皆さんのとおきの1冊を紹介します。

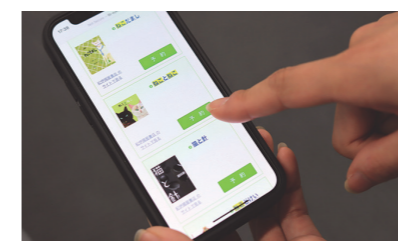
コロナ禍で「おうち時間」が増えた今、皆さんは家でどのように過ごしていますか。次は何にしようかなと考えているのなら、遊学館「よも～よ」の活用がおすすめです。

よも～よの図書室には、たくさん的一般図書や児童書、郷土資料が所蔵されています。裏側にある保管用の書架と合わせると、その数は約2万冊。新聞は、全国紙、地方紙ともに、1か月分収集されています。

また、幼児期の子どもたちへ向けて、おはなし会やブックスタートなどを行い、本との出会いの場をつくっています。司書がイコーゼの親子教室へ出張し、本の読み聞かせや出張貸出サービスをしたり、7か月健診を受けた赤ちゃんへ、好きな絵本を1冊プレゼントしたりしています。

イチオシ よも～よの便利な使い方

ネット予約スタート



インターネットを使った貸出予約を始めました。よも～よのホームページから、1人5冊まで予約できます。

新たにマンガコーナー設置



4月から新たにマンガコーナーを設けました。「ドラえもん」「サザエさん」など人気作が並んでいます。

毎月50冊近くの新刊



毎月一般書・児童書合わせて50冊近くの新着図書が入ります。随時図書リクエストも受け付けています。



1_ 幼児期に語彙力や読書力を身につけ、生涯にわたって読書を楽しんでほしいとの思いで行われるおはなし会。毎月1回イコーゼで開かれています 2_ 本に迷った時はカウンターで職員に相談を。話をしながら、あなたにぴったりの本を探してくれます

あなた好みの一冊を

司書 浅野 奈央

コロナ禍で、よも～よの利用者が減り、寂しく感じています。コロナ対策として、館内や返却本を消毒し、今年からネット予約も始めました。また足を運んでくれる人が増えたらうれしいです。

子ども向けの本、大人向けの本とありますが、必ずしも対象者だけが読むものではないと思っています。絵本を大人が読んでも感動や発見があったり、難しい説明のついた図鑑の写真や絵を子どもが飽きずに見続けることがあったりと、垣根はないように感じます。自分の好みを見つけているためにも、まずは本を手にとって、開いてみるからお気に入りの一冊を、一緒に見つけましょう。

Interview

